

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

*1942年製エルボー望遠鏡発見

このエルボーはかなり前から天文機器資料館に収蔵していたのでいまさら発見というのも変なのだが、1942年製と気付いたのはつい最近のことである。望遠鏡と書いたがこの望遠鏡には接眼部が失われている。接眼部を装着する部分に4枚のフィルターのターレットがある(写真1)。エルボー型望遠鏡は人工衛星観測用に数多く導入されたが、1942年製なのでその仲間ではない。



写真1 エルボー望遠鏡

この望遠鏡の入手の経緯についてすでに記憶がない。この望遠鏡に着いた銘盤が写真2である。MINNEAPOLIS-HONEYWELL REG. CO. 1942とある。アメリカ製である。



写真2 銘盤

HONEYWELL社は今では Aerospace 事業で有名な会社のようにある。ウィキペディアによれば、ハネウエル (Honeywell) は、1886年に設立されたアメリカの多国籍企業であり、電子制御システムや自動化機器を製造販売しており、アメリカ航空宇宙局、ボーイング、アメ

リカ国防総省に技術サービスやアビオニクスを提供している会社である。

やはり、この望遠鏡は人工衛星観測に関係して日本に入って来たと思える。接眼部がないが、その取付け部には4個のフィルターターレットがある（写真3）。

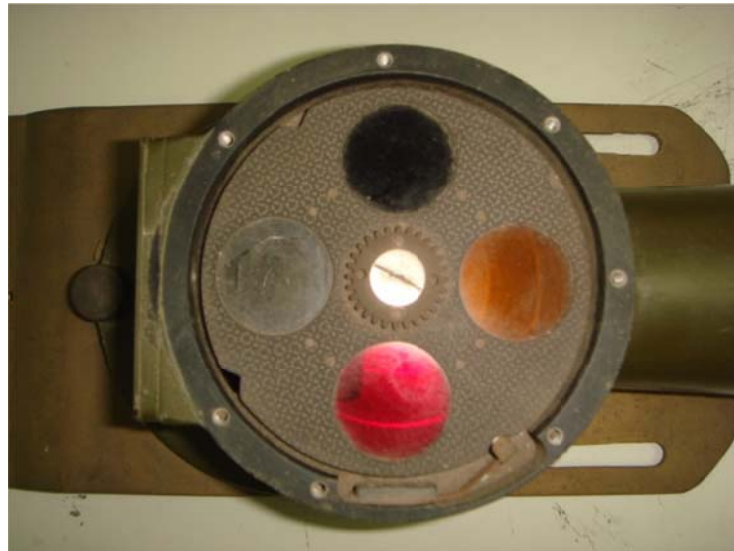


写真3 4枚のフィルターターレット

望遠鏡のレンズ側から見た様子が写真4である。



写真5 レンズ側から見たエルボーの様子

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp